



ごあいさつ

野口遵顕彰会

会長 清本英男

新緑の候、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は野口遵顕彰会に対しましてご高配・ご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、令和1年度の事業は計画どおりに実施することができました。
今年に入ると新型コロナウイルスが世界中で猛威をふるい、その影響を受けて予定していた総会は感染防止のために書面による表決総会としました。事業計画は原案どおり全役員議決を得て新年度をスタートしたところです。

毎年夏休み期間に実施し今回で20回という節目を迎えた『ジュニア科学者の翼』は、この新型コロナウイルス感染の影響により残念ですが中止することにしました。

また、今年度の新規事業は九州保健福祉大学と連携して実施する『アルコール代謝と遺伝子検査』です。九州保健福祉大学の最新鋭の設備を活用して中学生の理科（科学）教育の一環として企画したもので、この延岡に同大学があるからできる体験学習であり、中学生の皆さんが同大学を知る良い機会にもなります。

その他の事業計画は別紙のとおりです。計画にそってしっかり進めていきます。

野口遵顕彰会は来年1月に設立20周年を迎えます。これからも活動の一層の充実に努めていきたいと思っております。皆様の変わらぬご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

令和2年6月

副読本マンガ版の配付事業

《「のべおか新興の母 野口 遵」》



平成27年から配付している小学校副読本「のべおか新興の母野口遵」（マンガ版）を、今年度も延岡市内の小学校28校の4年生全員に配付します（今回で6回目）。

これは、延岡市教育委員会が3・4年生に配付している副読本「わたしたちの郷土延岡市」の中に、“延岡にかかわる偉人”の一人として野口遵翁が取り上げられています。

小学生の皆さんが学習する際に、野口遵翁をよく理解できて学習効果に役立つようにとの思いを込めて配付するものです。

野口遵翁の科学者として、また、世界的な事業家としての業績や延岡市の発展に多大な功績を残したことなどを、多くの小学生のみなさんにしっかり読んでもらって理解してもらえればと思います。

〈事業費 21万円〉

青少年科学技術研修派遣事業

《第20回『ジュニア科学者の翼』の中止》

毎年夏休み期間中に3泊4日の日程で、中学2年生12名を関東地区にある科学館、研究所に派遣して今回で20回となりますが、新型コロナウイルスの感染が世界中で猛威をふるい、日本でもその影響を受けて各学校は休校を余儀なくされて本来の授業が予定通りに実施できない状況にあります。

そのため教育委員会、各学校では夏休み期間を短縮するなどして授業時間を確保することを検討していますし、第2波、第3波の新型コロナウイルスへの感染も懸念されています。このような状況を総合的に判断して残念ですが、今回はこの『ジュニア科学者の翼』は中止いたします。



第20回『野口賞』授与事業



宮崎県内を拠点に独自の事業拡大、研究開発、技術開発を行い、顕著な業績を上げた企業や個人を募集・選考して賞状と賞金を授与していますが、本年度も広く募集します。そして、厳正な審査を行って『野口賞』には賞金100万円、惜しくも『野口賞』には該当しないが優秀なものに、学術部門と産業部門それぞれに「奨励賞」（賞金50万円）を授与します。

これまでに『野口賞』（賞金100万円）を2名の方々が、また、「奨励賞」を16グループ

(企業または団体)の皆さんが受賞しています。「奨励賞」を受賞されました皆さんは『野口賞』(賞金100万円)に再応募することもできます。多くの皆さんのご応募を期待しています。

〈事業費170万円〉

◆応募案内	6月中旬
◆応募締切	7月末
◆授賞者の決定・発表	10月
◆授賞式	11月中旬

第6回「野口遵翁生誕祭」



今年も野口遵翁の生誕の日である7月26日(日)に、当野口遵顕彰会が主催して行います(共催延岡市)。

今回も昨年同様、野口記念館が工事中のため、旭化成向陽クラブとその隣にあります野口遵翁の銅像前にて開催を予定しています。

〈事業費 10万円〉

『ジュニア科学スクール』事業

平成24年から延岡市内の小学校高学年(5・6年生)を対象に、「科学に関心をもって学習する機会」として各学校を訪問して実施しています。ペットボトルを使って風力発電機をつくり、そのしくみ等を学習します。



昨年は12校で600余名の6年生の皆さんが参加しましたが好評でした。今年も多くの皆さんが参加できるよう10回程度計画したいと考えています。

ゲーム機の普及でゲームに熱中する子供が多い中で、組立や実験を通して一人でも多くの小学生のみなさんが「科学(技術)」に関心を持ってもらえることを期待しています。

〈事業費 35万円〉

『キャリア教育』への取組み!!

延岡市内のすべての小中高校(52校)を対象に、「働く苦勞と喜びを知ってもらう」とともに地元企業の魅力を伝え、若者の地元就職率を上げることを目的として設立された「延岡市キャリア教育支援センター」が活動していますが、同支援センターと連携の上事業を

実施するとともに、当野口遵顕彰会独自の事業を企画実施します。

具体的には下記の通りです。

1. 『文科省スーパーサイエンスハイスクール』指定校 延岡高校へのサポート
(キャリア教育支援センターとの連携事業)

<目 的>

文部科学省の「将来の国際的な科学技術関係人材を育成するため、先進的な理数教育を実施する学校（SSH）」の指定を延岡高校が受けた。

延岡市キャリア教育支援センターでは「探究・科学サポート委員会」を設けて、科学技術の学びの支援（学術的な観点からではなく、現実社会のリアルな視点から）、産業界、地域の人的・物的資源との連携をコーディネートするなど延岡高校を全面的にサポートしますが、当野口遵顕彰会もこれに連携してサポートします。

<対 象>

延岡高校では1年生普通科（165名）、メディカルサイエンス科（84名）が「地球環境問題」を中心に生徒一人ひとりが、またグループでそれぞれ課題を設定して取り組みます。

<事業費 10万円>

2. 『頑張る地元企業に学ぶ！！』（野口遵顕彰会独自の事業）

<目 的>

中学生の皆さんに当野口遵顕彰会役員の子会社を案内して、その会社が頑張っている姿、そして経営者として必要な知識・経験や会社経営の魅力などを学習して、将来、家業を引き継ぐ生徒や会社の起業を志す生徒の一助とする。対象は中学校2年生とし、学校が休みの土曜日の9時～15時（予定）、1回10名程度の参加とし、経営者から直接話を聴いて学習します。

<事業費 10万円>



ジュニア科学スクール『アルコール代謝と遺伝子検査』

(九州保健福祉大学との連携事業)

1. 目 的

- (1) 一般的に日本人は外国人（特に欧米の人々）に比べてアルコール（お酒）に弱いと